

## 芦屋小学校

### 「頭」鍛え中



考えを交流する協同学び



学力向上「バリ鍛」タイム

### 「心」鍛え中



そうじ時間の黙働



登下校時の校門一礼

### 「体」鍛え中



業間体育の大縄跳び



全児童がつながるリレー大会

### 頭・心・体 鍛え中

芦屋小学校では、学校の教育目標である「知・徳・体」の調和がとれ、たくましく『生きる力』をもつ子どもの育成に向け、今年度も「頭・心・体」の鍛錬を目的とした教育活動を展開しています。

「頭」の鍛錬は、確かな学力の定着に向け、自分の考えを持つ「一人学び」や、お互いの考えを理解し、学びを深める「協同学び」を授業の中に取り入れ、 「バリ鍛」タイムで自学のすすめ方を身につけさせたりして、学力向上に取り組んでいます。

「心」の鍛錬は、道徳の授業の工夫と、あいさつ・そうじ・ことばづかいの日常的な推進に努めています。具体的には「語先後礼」であいさつ、登下校時の「校門での一礼」、そうじ時間の「黙働」などです。

「体」の鍛錬は、体育科学習指導の充実と、業間体育（15分間）、「鍛錬ウォーク」や「弁当の日」の設定などの計画的な推進を行っています。

(教頭 石橋勝志)

### 子どもの睡眠

現代は、携帯電話、パソコン、ゲーム機などの情報機器を身近に楽しめる時代です。そのため、遅くまで起きていようと思わなくても、ついそれらに夢中になり、夜更かしをしてしまいがちです。その影響は子どもたちにも現れてきています。子どもたちの中には、パソコンやゲームなどの機器に夢中になり、睡眠時間が削られ、夜型の生活習慣に陥ってしまう子どもも増えてきています。人は「暗くなったら寝て、明るくなったら起きて活動する」という生活を、約25時間を周期とする「体内時計」によって営んでいるといわれています。この体内時計は、1日（24時間）の周期と少しずれがあるため、起床後、日光を浴びたり、朝食を食べたりすることで、時計の周期が調整されます。しかし、現代の夜型生活は、「体内時計」に「ずれ」を生じさせ、この「ずれ」が睡眠障害などの症状をもたらします。

子どもたちの「ずれ」の大きな要因として、パソコンなど情報機器の影響があります。機器の画面から出る青色光（ブルーライト）の強い光を夜に浴びると、眠りをもたらすメラトニンの分泌が害され、睡眠の質の低下につながり、心身の成長に影響を与えます。寝る前は親が機器の使用を管理するなど、子どもとルールを決め、睡眠の環境を整えることも必要です。規則正しい睡眠は、体を休めるためだけでなく、子どもの体や脳の成長のためにもとても重要です。健全な眠りがあつてこそ、活発な日常生活が営めます。子どもの睡眠習慣は大人の生活スタイルが影響を与えます。家族全員で生活習慣を見直し、子どもの成長を支えてあげましょう。

▽問い合わせ 社会教育係  
(☎223局3546)



## 学校での出来事を先生たちがお届け!!

## 芦屋東小学校

人間関係づくりと憧れの高学年をめざして

近年、核家族化や少子化、情報化などのさまざまな社会の変化から、子どもたちの間に好ましい友人関係が構築されにくくなってきているといわれています。本校では、このような課題に対応するため、全学年、全学級の児童を少人数に分け異学年のグループを構成し、さまざまな集団活動を行う「縦割りグループ活動」に以前から取り組んでいます。この「縦割りグループ活動」では、主に次のようなねらいを掲げて活動しています。

- 異学年集団の中で活動することで、相手を思いやる気持ちや協調性を養う。
- 協力や工夫をして活動する中で、互いの良さに気づき、認め合い、児童相互の望ましい人間関係を育成する。
- 下級生の世話をとおして、高学年児童のリーダーとしての自覚や責任感を育む。

ここからは、主な活動を写真で紹介いたします。  
(教頭 佃文範)

### はじめての顔合わせ縦割りグループ結団式



高学年中心に出会いの式



仲よしジャンケン列車

### 海浜公園まで全校で歓迎遠足



さあ、出発だ!



みんなでお弁当タイム

### 折鶴づくり



平和への想いを込めて

### 中休みの「業間体育」



体力の向上をめざして

ふりがなをつけると読めるのであれば、漢字にふりがなをつけるとよいのです。



たとえば、  
●努力しているのに練習が足りないと言われ続ける子どもの場合

だれしも得意なことや苦手なことがあります。苦手なことができるようになることばかりに目を向けるのではなく、得意なことをいかしたり、それを伸ばしたりする方が、有効で早道です。

▽問い合わせ 学校教育係  
(☎223局3547)

このような支援は、今年4月に施行された障害者差別解消法では「合理的配慮」といわれ、すべての人が、無理なく社会参加できるように義務付けることになりました。これは、学校教育の期間だけでなく、生涯にわたって必要不可欠な支援です。 山鹿小学校 古市早苗

●聞くことが苦手な子どもの場合  
今、なんて言われたっけ。  
絵や文字で示すといった支援も有効です。



### 特別支援教育便り

くどうすればうまくいくか考えよう